

Gohowan News  
だごぼぼはん  
だより

発行 真宗大谷派 常 入 寺  
富山市東老田 787 番地  
電話 (076) 436-0816  
FAX (076) 436-2766  
携帯 090-3764-3983  
発行責任: 青井和成

# 御文をいただく 其の四三

## 五帖目最新五通③

信心獲得すというは、第十八の願をこころうるなり。この願をこころうるというは、南無阿弥陀仏のすがたをこころうるなり。このゆえに、南無と帰命する一念の処に、発願回向のこころあるべし。これすなわち弥陀如来の、凡夫に回向しますところなり。これを『大経』には「令諸衆生功德成就」ととけり。されば無始已来つくりとつくる悪業煩惱を、のこるところもなく、願力不思議をもって消滅するいわれあるがゆえに、正定聚不退のくらいに住すとなり。これによりて、煩惱を断ぜずして涅槃をうといえるは、このこころなり。此の義は当流一途の所談なるものなり。他流の人に対して、かくのごとく沙汰あるべからざる所なり。能く能くこころうべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

# 祠堂経会

六月十八日、十八九日

## 第十八の願

な願いです。

私たちの本尊である阿弥陀如来が仏となる時誓われた誓いを本願といいますがよりどころにしている御経には四十八通りの誓いが誓われています。その中で一番大事、中心となる本願は初めから数えて十八番目の願です。「たとひ我、仏を得んに、十方衆生、心を至し信樂して我が国に生まれんと欲うて、乃至十念せん。もし生まれずは、正覚を取らじ。唯五逆と正法を誹謗せんを除く」というように誓われています。本当に我が国、お浄土に生まれたいと思っているものを私、阿弥陀の力によってすくい取ります、このよう

このような第十八願をなぜ阿弥陀仏は仏に阿弥陀仏は仏になろうとされたとき誓われたのかということを訪ねて行くことが私たち念仏を称える者にとって本当に大事なことなのでしよう。またこのことを訪ねるとき「私」というものを抜きにしてはならないことでしょう。私を阿弥陀仏がなぜ救おうとして本願を立てられ念仏を響き念仏を響きわたらしてくださっているのか考えることが肝要なことなのです。

またそういうことを訪ねていくことを私たちの先輩方は「信心」とおっしゃってこられたわけです。

## 椅子を貸し出します

常入寺には参詣用にお座敷用のいすが40脚以上あります。ご法事の時など足の悪い方々のためにこの椅子をお貸しもさせていただいています。(但し、お寺の行事がない時) ぜひご利用ください。また皿、コップ、大鍋などもお貸しできます。

貸出料は無料です



# 高岡教区 第八組 同朋大会

## 開催テーマ 聞こえてますか 念仏



ハイ

キミ

ア  
ン

講師 **はたけやま 富山** **きよし 浄** 師



1974年生。石川県七尾市在住。真宗大谷派西佛山常福寺住職。聞響学場在学中。  
20代前半は、インド・ヨーロッパにて瞑想やヒーリングに道を求め没頭していたが、2000年春ご縁があり生家のお寺に入り真宗僧侶となる。  
2007年能登半島地震により本堂が全壊したことをきっかけに聞法道場建立の歩み始める。  
2012年に本堂落慶成るが、聞法道場建立の歩みの本番はこれから。  
好きな言葉は「ただ念仏すべし」。



日時 **4月28日(金曜日)午後1時30分より**

会場 **万徳寺** 射水市布目沢538  
電話0766-54-1387

主催 真宗大谷派(東本願寺) 高岡教区第八組